

私らしく
咲く

ふじのくに
なでしこ宣言企業



社員個々の働き方尊重

真空調理技術を生かした高級フランス料理などの加工食品を製造する食品事業本部で、勇ましくフォークリフトを運転する増田賀奈さん(31)の姿があった。上司の勧めで2年前に免許を取得した増田さんは、母親ほど年の離れたパート社員と共に「どうすればもっと業務改善できるか」

いちまる



フォークリフトを運転する
増田賀奈さん（焼津市）

を追求する。
女性が活躍できる職場整備を進める同社だが、本多真取締役(46)は「女性だからと特別視するのではなく、個々の社員が『どう働きたいか』をできるだけくみ取れるよう対

話を重ねたい」と話す。
出産する社員の休業中の人繰りや、復職後の配置は中小企業にとって大きな課題。独

身時代は出張の多い営業の最前線にいた渋谷瀬奈さん(26)は、長男(2)の出産を機に品質管理部に異動した。来春から2度目の育児休業を取得予定だが、復職後の働き方は模索中だ。「仕事にやりがいを感じ始めたばかり。どんな部署でも復職して、今までの経験を生かしたい」と意気込む。

＜第2、4金曜日に掲載。バックナンバーは「こち女」サイトへ＞

企業データ

本社 焼津市
業種 水産、食品事業など
従業員 148人(うち女性18人)

私らしく
咲く

ふじのくに
なでしこ宣言企業



家庭と両立パートから管理職

営業部係長の難波美由紀さん(51)は16年前、2男1女の子育てと両立できる仕事を一と、パート社員として入社した。「学校行事や家庭の事情を優先して構わない」という上司の言葉を受けて働くうちに仕事ぶりが評価され、2年

林製紙



ほかの女性社員2人と広報担当を任されている難波美由紀さん
(中央) 富士市

後には正社員になった。
今では、ユニークなトイレットペーパーの製造・販売で知られる同社の広報担当も任されている。報道資料や会社PRにつながるブログ作成な

ど、同じ広報スタッフの女性社員2人とともに、試行錯誤を重ねている。「パートの時

は『与えられた仕事をこなせばいい』という感覚だったが、正社員となり責任感もやりがいも感じている」と難波さん。林高幹専務(51)は「もともと女性比率の高い職場。管理職登用の強化に向け、教育に力を入れたい」と話す。

＜第2、4金曜日に掲載。バックナンバーは「こち女」サイトへ＞

企業データ

本社 富士市
業種 家庭紙製造・販売
従業員 24人(うち女性11人)